



第78期 中間報告書

2024.4.1-2024.9.30

kitazawa BUSINESS REPORT



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第78期中間決算の概要および当社の取り組みにつきましてご報告申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続いている一方で、資源価格や原材料価格の高騰、円安に伴う物価の上昇、世界情勢の緊迫化などの影響によって先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの主要取引先である外食産業におきましても、人流の改善やインバウンド需要に支えられて回復基調にあるものの、実質賃金の減少による節約志向、光熱費等の上昇や人手不足の影響などにより、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中で、当社グループの当中間連結会計期間の売上高は75億26百万円（前年同期比6.5%減）となりました。利益面では、営業利益3億43百万円（前年同期比18.4%減）、経常利益3億85百万円（前年同期比18.3%減）、親会社株主に帰属する中間純利益2億49百万円（前年同期比15.5%減）となりました。

このような経営環境の中で当社グループは、従業員が行動計画を基に効率的に行動し、新規顧客への積極的な営業活動や、既存取引先へのアフターフォロー、アフターサービスの充実により更なる信頼関係を築き、単品販売強化による利益の追求、スーパーマーケットや食品加工場への営業を行い、積極的に事業を展開していく所存であります。

当社グループでは「SDGs」の理念に賛同し、すべての人々が地球とともに笑顔で過ごせよう「SDGs」達成に向けた社会活動を推進してまいります。当社では廃油を大幅に削減するWAOフライヤーの開発や、給水加熱に排熱を再利用して地球環境の負荷軽減・人手不足を改善する大型洗浄機システムなどの開発にも取り組み、省エネ・省人・省力化を追求し、これからも持続可能な社会に向けて、未来を切り拓いてまいります。

通期の連結業績予想につきましては、売上高168億50百万円、営業利益9億円、経常利益9億50百万円、親会社株主に帰属する当期純利益5億75百万円を予想しております。

また当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つと考えており、安定的な配当の継続を維持しつつ、業績に応じ積極的に株主の皆様へ還元していくことを基本方針といたしておりますが、業績などを総合的に勘案し中間配当は見送らせていただき、期末配当金予想額を1株当たり8円とさせていただきます。

今後とも皆様の変わらぬご理解、ご支援を賜りたく、謹んでお願い申し上げます。



代表取締役社長

北川 正樹



持続可能な社会に向けて、 北沢産業は未来を切り拓いていきます。

わたしたち北沢産業グループはSDGsの理念に賛同し、
サステナビリティ活動の一環として「より良い職場環境づくり」
「食の安心・安全のための活動」「生産者に寄り添う活動」
「地球環境負荷軽減のための製品開発」に取り組んでおります。

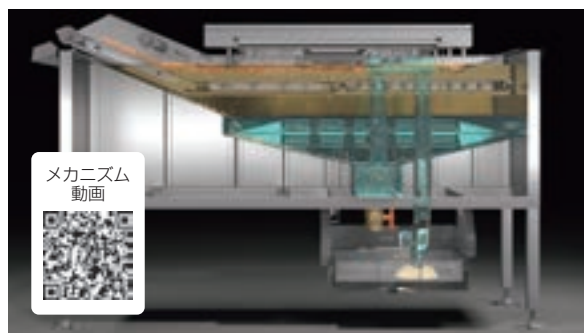
北沢産業のSDGs



WAO conveyor type
AUTO



「水」と「油」のフライヤーWAOの技術を導入し、自動化することで「**大量調理においても廃油を大幅に削減する**」ことを実現させたオートフライヤー WAO AUTO。



特殊ろ過システムが導入されているため、きれいな状態の油で大量調理が可能であり、廃油の削減だけでなく、きれいな状態の油が長持ちすることで日々のお手入れが楽になり、作業環境が改善されます。様々な特別仕様を用意しておりますので、食材も幅広く対応し、職場環境の向上に貢献いたします。

WAO
kitazawa Water Oil Fryer



当社では「**廃油を大幅に削減するフライヤー**」の開発に取り組み、独自の特許技術『特殊水流ろ過システム』で実現させることに成功いたしました。



テレビ番組「カンニング竹山のイチバン研究所」でフライヤーWAOが紹介されました！
番組では、乃木坂46の岩本蓮加さんと当社スタッフが、フライヤーWAOについて語っております。
ぜひ、QRコードからご覧ください。

YouTube



FOOMA JAPAN 2024 出展

世界最大級の食品製造総合展「FOOMA JAPAN 2024」へ本年も出展いたしました。来場者数が昨年度を上回り11万人を超える中、当社は先進的な技術を用いて、ECOで人に優しいフライヤーWAO、WAO AUTOなどを展示いたしました。食や環境に関心があるお客様に興味を持っていただけました。

(総来場者数 113,777名)

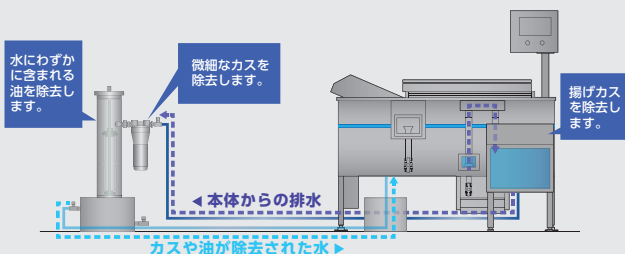


WAO Re/Birth リ・バースはReturnとBirthの意味をかけあわせてつくられた造語です。調理使用されて、廃棄されるはずの水と油を生まれ変わらせて機械に戻し、再利用を可能とさせる意味を言葉に持たせました。

Oil Re/Birth Tank

ウォーターリバースシステム

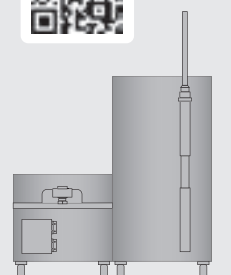
WAO AUTOの排水からカスと油を除去し、水のみを本体に戻して循環させるシステムです。



オイルリバースポンプ

WAO AUTOから直接油を落として一時的に油をストックすることができ、ポンプでWAO AUTOに油を戻せるので、重労働作業や火傷のリスクも無くなります。

使用動画



いぶし銀⁺
IBUSHIGIN



説明動画



専用の高性能カーボンヒーターで食材をふっくらジューシーに焼き上げるいぶし銀+。
このカーボンヒーターは、備長炭に非常に近い波長の遠赤外線を発生させることで、まるで炭火のような焼き上がりを実現いたします。

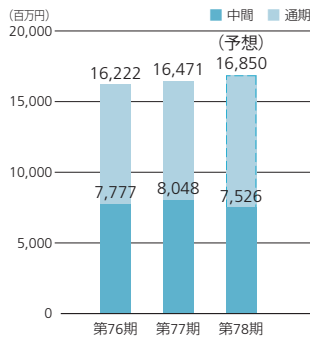
また、わずか5秒で調理準備可能にすることでアイドルタイムからの復旧が早く、炭火やガス熱源に比べて**大幅なランニングコスト削減**が見込めます。

またオプションの「備長風味」を使用することにより、食材に炭の風味をつけることもできます。

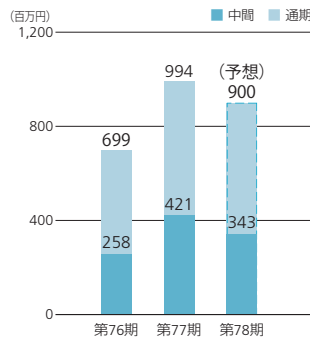
居酒屋をはじめとするあらゆる業態での調理に対応し、4タイプ・10機種のラインアップで様々なニーズにお応えする高性能グリラーです。

連結決算ハイライト

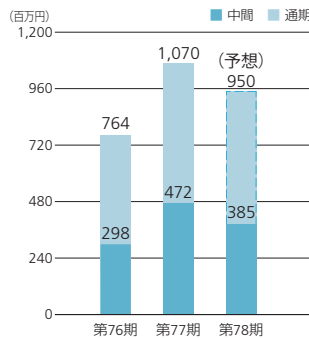
売上高



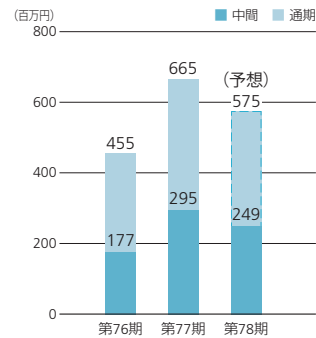
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する中間(当期)純利益



会社概要 (2024年9月30日現在)

商号 北沢産業株式会社
 創業 1951年3月28日
 本社所在地 〒150-0011 東京都渋谷区東二丁目23番10号
 電話 (03) 5485-5111 (代表)
<https://www.kitazawasangyo.co.jp>
 資本金 32億3,554万6,415円
 従業員 424名 (連結)

取締役および監査役 (2024年9月30日現在)

代表取締役社長 北川 正樹
 常務取締役 石塚 洋
 取締役 小山 栄樹
 取締役 神田 浩徳
 取締役 甲田 欣豊
 取締役 長谷川 英樹
 社外取締役 青木 茂男
 社外取締役 山田 正人
 社外取締役 高木 いづみ
 常勤監査役 塩崎 康男
 社外監査役 井上 晴孝
 社外監査役 納谷 全一郎

株式の状況 (2024年9月30日現在)

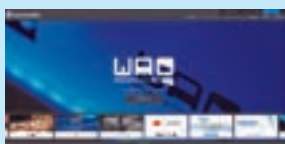
発行可能株式総数 72,000,000株
 発行済株式の総数 23,818,257株
 株主数 3,713名
 大株主

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
北沢持株会	1,860,650	10.01
株式会社UH Partners 2	1,396,800	7.51
光通信株式会社	1,157,000	6.22
株式会社テンポスホールディングス	1,062,300	5.71
株式会社北陸銀行	921,000	4.95
北沢産業従業員持株会	837,860	4.51
フクシマガリレイ株式会社	778,000	4.19
株式会社インテリックス	370,000	1.99
株式会社UH Partners 3	366,300	1.97
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	346,600	1.86

(注) 持株比率は自己株式5,228,325株を控除して計算しております。

当社ホームページのご案内

下記アドレスにアクセスいただくことにより、当社の会社情報や商品情報、IR情報などをご覧いただくことができます。分かりやすく、迅速に情報をご提供してまいります。



▶▶▶ <https://www.kitazawasangyo.co.jp>

北沢産業

検索



北沢産業グループはSDGsの理念に賛同し、SDGs特設ページをご用意しております。詳しくは下記アドレスよりご覧ください。



▶▶▶ <https://www.kitazawasangyo.co.jp/product/special/sdgs.html>

北沢産業 SDGs

検索



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月
 基準日 3月31日
 中間配当基準日 9月30日

公告方法 電子公告により行います。
 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
 ホームページアドレス
<https://www.kitazawasangyo.co.jp>

株主名簿管理人 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号
日本証券代行株式会社

同事務取扱場所 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号
日本証券代行株式会社 本店

(郵便物送付先) 〒168-8620
 (お問合せ先) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 日本証券代行株式会社 代理人部
 電話 0120-707-843 (フリーダイヤル)

各種手続のお申出先

・未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
 ・住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。
 証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行株式会社へお申出ください。

【おしらせ】

当社の株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関である日本証券代行株式会社は、三井住友信託銀行株式会社と2025年1月1日をもって合併いたします。これに伴い、同日以降、当社の株主名簿管理人および特別口座の管理機関は次のとおり変更となります。

三井住友信託銀行株式会社
 ホームページアドレス <https://www.smbt.jp/personal/procedure/agency/>
 電話 0120-707-843 (フリーダイヤル)



北沢産業株式会社

